

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	日本建築史						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	選択必修科目(建築工学コース) 選択必修科目(建築コース) 選択必修科目(デザインコース)						
担当者	川上 秀人						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から近世までの寺院建築と神社建築の流れを知る。(B5)</li> <li>・構造と意匠の関係を理解する。(B5)</li> </ul>						
日程と内容	4/10 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/17 時代区分・竪穴住居 4/24 高床住居・古代の神社 5/1 神明造・大社造 5/8 住吉造・春日造 5/15 八幡造・法隆寺 5/22 法隆寺再建非再建論争 5/29 伽藍配置・薬師寺 6/5 都城制・寝殿造 6/12 阿弥陀堂建築 6/19 和様・多宝塔 6/26 中世概観・大仏様建築 7/3 大仏様建築・禅宗様建築 7/10 禅宗様・中世の神社 7/17 金閣・銀閣 7/24 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から近世までの寺院建築と神社建築の流れを知る。(B5):達成した</li> <li>・構造と意匠の関係を理解する。(B5):達成した</li> </ul>						
反省点	翌週、翌々週の授業内容を提示して、自己学習の目標を定めた。また、全4回のレポートを課し、記述内容を細かくチェックした。合格点に達しないものは何度でも手直しをさせたが、それらが成績には反映されていないため、学生は自宅学習をほとんどしていないと思われる。						
来年度の計画	昨年度よりも合格率はかなり下がった。自宅学習をしっかりとるように、レポート課題を与えて学習の目標を明確にする。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.2で、全科目の平均値8.0を上回っている。1年生は授業評価が全体的に厳しいが、静かな授業環境を保ったことなどが評価されたのであろう。しかし、ノートをとる学生は少なく、それが成績に表れたと思われる。明らかに自己学習の不足である。						
履修登録者数	94名	定期試験 受験者数	72名	合格者数	45名	合格率	63%